

5月定例会のご案内

「一人でもマルチカメラ(3カメ)撮影」の方法

撮影内容によっては1台のカメラでは押さえきれないケースも多々発生。
そんなときは2台、3台、場合によっては4台で撮影となることもあります。
一方、カメラオペレートは予算やカメラマンの確保の都合上、1人で行う事がほとんど。
そこで今回は「マルチカメラでワンマンオペレート」のノウハウを披露しあいましょう。
難しいのか難しくないのか？聞いてのお楽しみ。



日時 5月17日(火) 午後7:00~午後9:00

場所 日暮里サニーホール 第1会議室

〒116-0014

東京都荒川区東日暮里5-50-5

ホテルラングウッド5階 03-3807-3211

JR・京成 日暮里駅前より徒歩約5分。

4月定例会報告 (2016/4/19)

各会員からの近況報告を久々に行う。もちろん十人十色の内容。自分とは違った環境、手法や考え、生き方に触れることができたのもありがたい。
時間も不足気味で終了。おそらく物足りなかつた方もいらっしゃると思うのでまたの機会に続編でも。



出席者のみなさん。このほか鈴木茂之氏が都合により途中退席。
なお当会設立時メンバーの鈴木敏夫氏(アクティブライフ代表)が久しぶり(10年弱?)に見学に見えられた。(氏も途中退席)

自己オーラ

4月30日、小田原駅構内で「熊本地震義援金」の募金活動を行ってきた。でも、自分たちの呼びかけ声の中々、周囲の空気に交わっていかないのを感じる。その戸惑いといたたまれなさ。でもやがて気付く。自分たちから何のオーラも出ていないことに。オーラが出ていないから行き交う通行人も呼応しづらいことに。

そういうことは撮影でも当てはまる。現場ではどうするかというと、まず自分から自分自身に向けてのオーラを出す。その日のスタートはそこから始まる。精神力に汲むであろうオーラと、技術との因果はわからないがいつもそこからスタートしている。

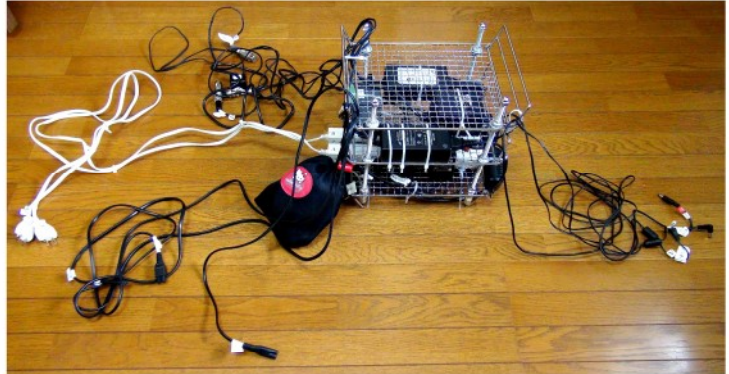
ところで二日後、募金お手伝いを依頼してきた社会福祉協議会の職員から、明るい声のお礼の電話がかかってきた。結局集まった募金は相当額あったようだ。そうか、それはよかった。

「ビデオナー・ビズネット メモ」
十周年記念式典は二〇〇七年九月十日でした。
つまり、来年二〇一七年が設立二〇年の年になります。
お祝い式典を考える時期に入ってきましたね。

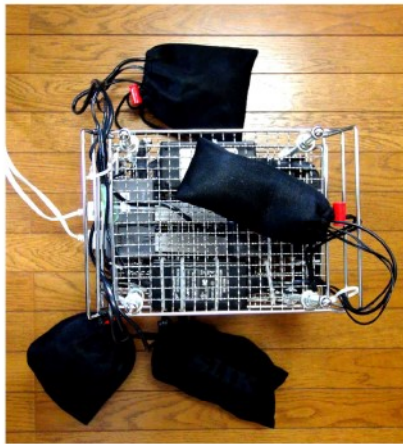
機材も徐々に増え、それに伴って電源コード類も増えていき、やがて仕込みでも撤収でも收拾をつけるのに、かなりの時間がとられるようになって、考え出したのがこのバッグ。撮影にはこのバッグと電ドラを持参するだけでOK。これがあることで随分と楽になった。でも遠くないうちにやっぱりできればコードレスになる時代が来ることを願ってもある。



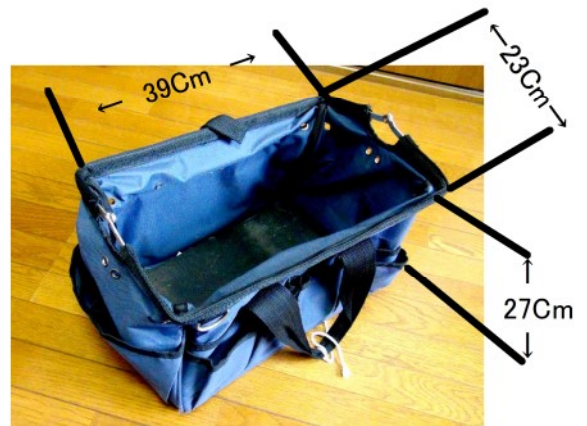
電源関係一式をバッグ仕立てに収納。



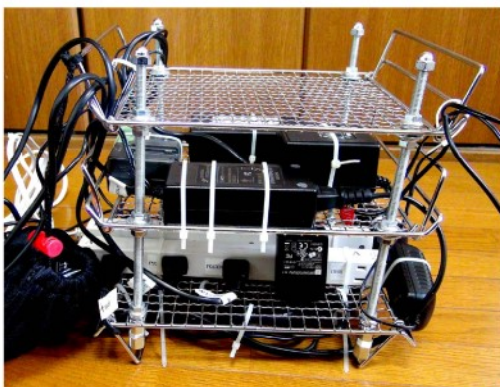
バッグから取り出して、コード類を広げた状態。



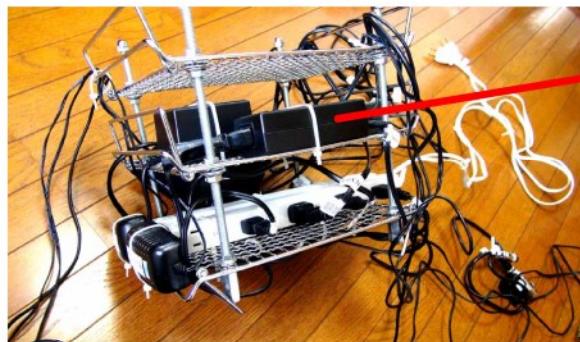
コードは4つのグループに分けて、グループごとに小袋(100均で購入)に収納。こうしておくことでコード同士が絡まず、機器との結線がスムーズに行く。(真上から。)



建築関係の方が使っている工具バッグ。布製で開口部がパカッと開くやつ。生地が薄くて安いものもいい。そのほうが放熱効果も高いはず。

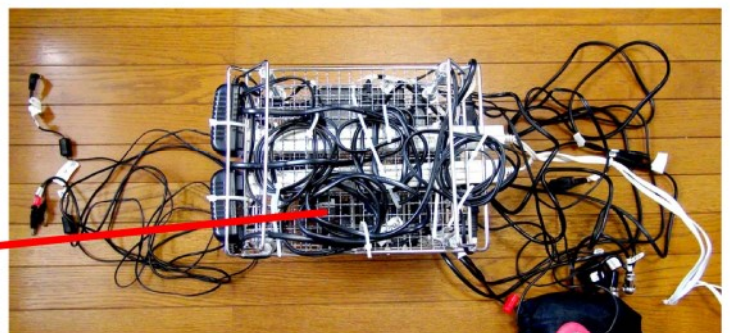


金網はお察しのお通り「もち焼きアミ」。「アダプター」や「タップ」は結束バンドでキッチリ固定してある。



「アダプター」は放熱を考慮して2段目に。

ひっくり返して底から見る。コードの余りをゆるく輪にして止めてある。不要なコードがまとわりつくわずらわしさも解消。



《電源・アダプター一式収納バッグ②》



←
長ネジ棒に数種類のナット類と
もち焼きアミを利用して組み上げた。
いずれもホームセンターで購入。
ここまでたどり着くのにかなりの
試行錯誤を繰り返す。
この手の自作は難しく考えすぎると
完成がドンドン遠ざかる。
シンプル思考になるとあっさりと
目の前に現れてくることも度々。

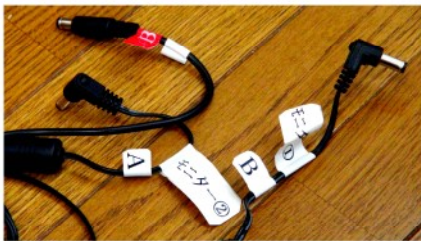
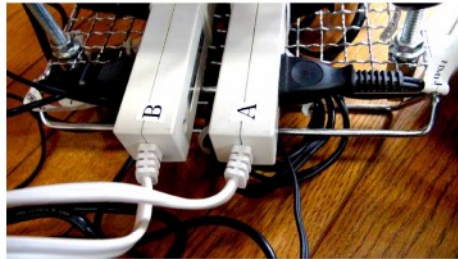
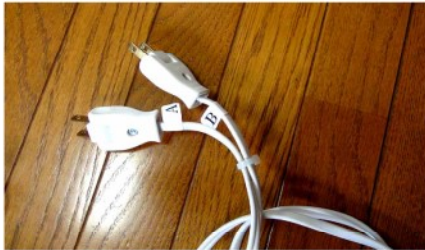
長ネジ棒は丁度よい長さのものが
なかったのナットをねじ込んでから
鉄ノコでカットした。
(カットした後、ナットを外すと切断面
のつぶれた目立つ。)

タップには念のため「A」「B」の文字を
入れて系統がわかるようにしてある。



↑
もち焼きアミはナット類で
上下からはさむようにして
固定。

タップはオンオフスイッチの
ないもの、コンセント口が
しっかりしたものを使用。
タップにも差し込むコードにも
「ネーム」が貼ってある。↓



コード末端にも「ネーム」は必須。これを見ながら、素早く各
機器に結線していく。
A,Bの印も入れてある。これで
どちらのタップにつながって
← いるのかがわかることに。 →



使わないときはこの状態で
すっきり保管。↓



↑ バッグに入れたまま、こんな感じで使用する。
ここから迷うことなく各機器にコードがつながれていく。
カメラ3台・モニター3台・ミキサー・リミッター・SDレコーダー等々。
内部の熱を逃がすために、使用中、最上部のアミは開放状態にする。
もちろん、どんなに頑張ってもモチは焼けない。